

平成二十七年大学院人文科学府修士課程《第一期》

(外国人留学生) 入学試験問題

(東洋史学)

◎ 以下の各問に答えなさい。

(解答は解答紙に記入すること)

問Ⅰ 三世紀から十三世紀にいたる「中国」の諸王朝をとりまく国際関係史について、その研究動向と展望を論述しなさい。

問Ⅱ 次の各語を簡単に説明しなさい。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① 関隴集団 | ② 眞弘 | ③ 冊封体制 | ④ 完顔烏祿 | ⑤ 府兵制 |
| ⑥ 倭の五王 | ⑦ 元符和議 | ⑧ 裴世清 | ⑨ 羈縻政策 | ⑩ 西嶋定生 |

問Ⅲ 次の史料を現代日本語に翻訳しなさい。

明帝二年、俟斤遣使來獻方物。保定元年、又三輩遣使貢其方物。時與齊人交爭、戎車歲動、故每連結之、以為外援。初、魏恭帝世、俟斤許進女於太祖、契未定而太祖崩。尋而俟斤又以他女許高祖、未及結納、齊人亦遣求婚。俟斤貪其幣厚、將悔之。至是、詔遣涼州刺史楊荐・武伯王慶等往結之。慶等至、諭以信義。俟斤遂絕齊使而定婚焉。仍請舉國東伐。語在荐等傳。

三年、詔隨公楊忠率衆一萬、與突厥伐齊。忠軍度陁嶺、俟斤率騎十萬來會。明年正月、攻齊主於晉陽、不尅。俟斤遂縱兵大掠而還。忠言於高祖曰、「突厥甲兵惡爵賞輕、首領多而無法令、何謂難制馭。正由比者使人妄道其疆盛、欲令國家厚其使者、身往重取其報。朝廷受其虛言、將士望風畏懼。但虜態詐健、而實易與耳。今以臣觀之、前後使人皆可斬也」。高祖不納。是歲、俟斤復遣使來獻、更請東伐。詔楊忠率兵出沃野、晉公護趣洛陽以應之。會護戰不利、俟斤引還。

五年、詔陳公純・大司徒宇文貴・神武公竇毅・南安公楊荐等往逆女。天和二年、俟斤又遣使來獻。陳公純等至、俟斤復貳於齊。會有風雷變、乃許純等以后歸。語在皇后傳。四年、俟斤又遣使獻馬。

俟斤死、弟他鉢可汗立。自俟斤以來、其國富彊、有凌轢中夏志。朝廷既與和親、歲給綵絮（錦）〔錦〕綵十萬段。突厥在京師者、又待以優禮、衣錦食肉者、常以千數。齊人懼其寇掠、亦傾府藏以給之。他鉢彌復驕傲、至乃率其徒屬曰、「但使我在南兩箇兒孝順、何憂無物邪」。

〔周書〕卷五十列傳第四十二「異域下」突厥